

教 育 研 究 業 績 書

年 月 日

氏名 印

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド
---------	---------------------

看護学・基礎看護学	看護倫理学・看護教育学・看護管理学
-----------	-------------------

「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科・細目名レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。また分科レベルにない場合は、適宜記入してください。
 ※科学研究費補助金「系・分野・分科・細目表」については、下記URLを参照してください。
https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/data/h28/h28_koubo_08.pdf

〇〇に関する実務	職務内容を表すキーワード5つ以内を記入してください。
----------	----------------------------

専門職学位を授与している者、または専攻分野において特に優れた知識及び経験を有する者は、「研究分野」の欄には「〇〇に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」の欄には、職務内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。

教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項

事項	年月日	概 要
<p>1 教育方法の実践例 (例) 1) 大学での教育実践例</p> <p>※その他、下記のようなこと、それ以外のことも積極的に記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア機器を活用した授業方法 ・授業外における学習を促進する取り組み ・授業内容のインターネット上での公開等 ・司法研修所等の教育機関における教育経験 <p>※上記のほか、授業を行うにあたって学生の理解を促し、教育効果を高める教育方法として工夫した事項について、項目として起こしてください。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題・レポートの活用(効果的な題材、評価方法等工夫点について) ・演習・実習の効果的な活用 ・教育におけるe-mail利用 ・遠隔技術の利用 ・視聴覚教育技術の利用 ・市販教材の活用の工夫 ・体験型学習の導入 ・双方向授業の実践 ・ディベート・ディスカッションの導入 ・プレゼンテーションの導入 ・シラバスの活用 ・ティーチング・アシスタントの活用 ・学生の授業評価の活用とそのフィードバック ・その他、教育効果を高めるための取り組み等 <p>※自作した教材の活用は、「2 作成した教科書、教材」の欄に記入してください。</p>	<p>昭和〇年〇月 ～平成〇年〇 月</p> <p>※当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。</p>	<p>〇〇大学〇〇学部〇〇学科の教授として担当の「〇〇〇論」(専門科目、〇年次配当、半期、必修〇単位)において、〇〇〇〇〇〇のために、〇〇〇〇〇〇〇〇の教育方法を実施したところ、学生アンケートの結果からも、学生の満足度が高く、また、当該科目の履修者の配当数において、〇〇資格試験の成績が、当該科目の履修の前後を比較すると、飛躍的に向上した。</p> <p>※以下の内容を盛り込んで、記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該教育方法を実践した科目 ・実践例の具体的内容 ・当該教育方法を実践したことの効果

<p>2 作成した教科書, 教材 (例) 1) 「○○○○○○○○」 (著書 1 に再掲)</p> <p>2) 講義用補助教材</p> <p>※作成した教科書, 教材, 講義で教科書として使用している著書, 教材等の概要(後の「著書, 学術論文」との重複も可。その場合, 「(著書○に再掲)」等と表示) ※出版された教科書だけでなく, 授業を行うにあたって学生の理解を促し, 教育効果を高めるために工夫した教材について, 項目として起こしてください。 ・講義用教材 ・補助教材(プリント冊子) ・実験・実習指導用マニュアル ・スライド, ビデオ等の作成 ・その他 等</p>	<p>昭和○年○月</p> <p>平成○年○月 ～現在に至る</p>	<p>○○大学○○学部○○学科の教授として担当の「○○○論」(専門科目, ○年次配当, 半期, 必修○単位)において…○○を○○○のように用いて講義を行った。○○を用いることで学生の○○○は○○○した。</p> <p>○○大学○○○学部○○学科の教授として担当の「○○○○」(専門科目, ○年次配当, 半期, 必修1単位)において使用している。受講生には, 留学生も含まれ, 受講生の母語は, 3カ国語にわたる国際色豊かなクラス編成となっている。そのため, 講義の要点を理解できるよう配慮し, アウトラインを1回ごとに作成し, そのプリントを毎回の授業で配布している。</p> <p>※以下の内容を盛り込んで, 記入してください。 ・当該教科書・教材を使用した科目 ・作成・使用の具体的内容 ・当該教科書・教材の作成・使用の効果</p>
<p>3 教育上の能力に関する大学等の評価</p> <p>※各大学での自己点検・評価の一環として, 教育面で高い評価を受けた事実(その事由と評価内容) ※採用決定の際等における教育上の能力に関する評価 ※学生による授業評価, 教員同士の相互評価等をまとめたもの ※学外の評価機関等が行った評価 ※上記以外で, 学長, 学部長, 諸機関等が行った評価(客観性を持ったものについて記載) 等</p>		
<p>4 実務の経験を有する者についての特記事項 (例) 1) 精神科病棟管理(9年間)及び臨床実習指導</p>	<p>平成○年○月 ～平成○年○月</p>	<p>精神科病棟婦長として病棟の看護管理を担当した。この間, 精神科病棟として初めて○○大学看護学部3年生の臨床実習を受け入れることとなり, 以後例年, 年間約30名の学生の実習指導に当たった。受け入れに際しては, 以下のことに留意した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・責任教員との連携の中で患者の選定基準や臨床での教育内容などを検討 ・実習期間の初期には学生を伴って病室を移動し, 患者との対応場面を見せながら患者の側にも学生の存在とその目的を伝え, 患者-学生関係の成立状況に配慮 ・受け持ち患者の病態の理解を助けるために, 医師からの病状説明を実習時間に組み入れた ・指導に当たる看護婦はできるだけ指導に力を注ぐことができるよう業務分担を調節 ・指導内容やその結果は他の看護婦とも共有しながら進める ・看護スタッフの臨床実習指導者としての資質を高めるため, 外部研修や関連学会への参加を促すなど, 動機づけとその後のフォローをおこなった。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<p>1 資格, 免許 (例) 1) 看護師免許 2) 学士(看護学)</p> <p>※スポーツ等実技関係者の場合、指導者としての経歴・実績・資格等 ※「教員個人調書」の「学歴」欄で記入した学位・資格等も含めて記入してください。 ※登録番号を含めて記入してください。</p>	<p>平成〇年〇月〇日 平成〇年〇月〇日</p>	<p>登録番号 第〇〇〇〇〇〇号 〇〇〇大学 第〇〇号</p>
<p>2 特許等 (例) 1) 〇〇システム 登録番号 特許第〇号</p> <p>※意匠登録, 実用新案についても記入してください。</p>	<p>平成〇年〇月〇日</p>	<p>※特許の内容, 本人担当部分, 共同研究者名について記入してください。</p>
<p>3 実務の経験を有する者についての特記事項 (例) (企業の研究者の事例) 1) 〇〇株式会社〇〇研究所における〇〇〇の研究開発</p> <p>(国際金融実務経験者の事例) 2) 多国間通貨調整とセントラル・レート制度に関する調整</p> <p>(情報技術関係者の事例) 3) メール, ニュースシステムの利用環境の改良及び開発</p>	<p>昭和〇年〇月 ～平成〇年〇月</p> <p>昭和〇年〇月</p> <p>平成〇年〇月</p>	<p>〇〇〇株式会社〇〇研究所における研究管理職として, 〇〇〇〇の研究開発を担当し, 研究員及び協力メーカーを指導して, 〇〇〇〇技術の〇〇〇〇部分を改良し, 所期のコストダウンと性能向上を達成し, 数千万個の製品を世に送り出した。この成果により〇〇賞を受けた。また, コストダウンのために国際競争力が生まれ, 国内のみならず米国などにも大量に輸出され, 特許実施報奨金の金額が〇〇で1位になった。</p> <p>昭和〇年〇月の〇〇により変動相場制がもたらされたが, 同年のG10蔵相会議で多国間通貨調整が行われ, セントラル・レート方式での固定相場制に復帰した。この制度の永続性について, 〇〇銀行本店為替部からの調査依頼にしたがって, 〇〇〇等の数多くのエコノミスト及び市場関係者を訪問し, 〇〇〇の観点から調査を行い, これを取りまとめた報告書を作成した。論旨は, 金とのつながりを断ったドルを中軸とするこの固定相場制は長続きしないというもので, 事実, 昭和〇年以降, 変動相場制に移行した。</p> <p>Windowsのパソコンが社内ですべて普及するにつれて, 従来のワークステーションに接続して使用するメーカーなどに対して, 使用法が分かりにくい, 覚えにくいなどの意見が出るようになった。これを受けて, Webを利用したメールやネットニュースを統合的に扱えるシステムを, 〇〇〇〇技術を〇〇〇〇に用いることによって開発し, 平成〇年度より一般的に利用できるようにした。従来のシステムとの互換性を重視して, 従来のシステムの利用者がそのまま新システムを利用できるようにした。このシステムは現在も改良や機能向上を行っており, 全体の規模は13Kステップになっている。</p>

<p>(マスコミ関係者の事例)</p> <p>4) 編集委員兼論説委員としての実績</p>	<p>平成〇年〇月 ～現在に至る</p>	<p>平成〇年から〇〇新聞社において、専門記者、コラムニストで構成される編集委員室の編集委員兼論説委員として、〇〇省を中心に、〇〇、〇〇を担当し、論説、開設記事、コラムを署名で書いている。加えて、長短期の連載シリーズ企画やインタビュー、対談、座談会などの司会と執筆を行っている。</p>
<p>(看護師の事例)</p> <p>5) 〇〇病院看護婦</p>	<p>平成〇年〇月 ～平成〇年〇月</p>	<p>透析部に勤務。 腎不全で血液透析を受ける患者の看護、腹膜透析を受ける患者の看護、血液交換療法を受ける患者の看護、外来受診し慢性疾患を管理している患者の看護、また腎疾患や糖尿病などがもとで透析療法が必要となった患者の食事療法、飲水・尿量管理、服薬管理、検査のデータの説明と対処法、日常生活管理などについての指導を行った。血液透析中は血圧の急激な低下・病状の変化が起こりうるため、患者の様態に十分注意を払って看護に取り組んだ。</p>
<p>6) 〇〇病院看護婦</p>	<p>平成〇年〇月 ～平成〇年〇月</p>	<p>消火器内科・消火器外科・歯科口腔外科の中症病棟に勤務。 消火器疾患患者の術前、術後看護、消化器疾患で内視鏡治療を受ける患者の看護、口腔疾患患者の術後の看護、がん患者の終末期の看護、ストマをつくった患者の精神的・身体的援助と療養指導、痛みを訴える患者の看護、また歯科口腔外科外来看護、内視鏡室での看護などにあたった。</p>
<p>7) 〇〇病院看護婦</p>	<p>昭和〇年〇月 ～平成〇年〇月</p>	<p>循環器内科病棟に勤務 心筋梗塞で緊急入院したCCU患者の循環状態・呼吸状態の管理、絶対安静を余儀なくされている患者の看護、心臓リハビリテーション看護、循環器疾患を管理して生活していかなければならない患者の教育などにあたった。</p>
<p>(福祉関係者の事例)</p> <p>8) 福祉活動事業の推進</p>	<p>平成〇年〇月 ～平成〇年〇月</p>	<p>〇〇〇〇字事業を通じて、県内の市町村社会福祉協議会および社会福祉施設、福祉団体等との連携を強化し、県内福祉活動の推進にあたりとともに、〇〇〇〇調査を実施し、福祉活動の実態を把握し、地域社会におけるニーズを掘り起こした。また、〇〇〇、〇〇〇等の各種講座・研修会の企画と運営にあたりとともに、市町村福祉協議会等への直接的な支援に取り組む。</p>
<p>(大学教員(看護系)の事例)</p> <p>9) 臨床実習指導者研修会 講師</p>	<p>平成〇年〇月 ～平成〇年〇月</p>	<p>1) 〇〇県〇〇部主催講習会で「老人看護学」および「老人看護教育方法演習」について5年間講師を務めた。 2) 〇〇県〇〇部主催講習会で「老人看護実習」および「老人看護教育方法」について3年間講師を務めた。 3) 〇〇県〇〇部主催講習会で「老人看護学演習」および「看護教育目的論」について3年間講師を務めた。</p>
<p>10) 大学公開講座および連携講座等の講師</p>	<p>平成〇年〇月 平成〇年〇月</p>	<p>1) 〇〇県立〇〇短期大学公開講座において、一般市民約120名を対象に「老人の〇〇」について講演した。 2) 〇〇県立〇〇大学第2回健康講座のシンポジウム「〇〇〇」のコーディネーターを務めた。</p>

<p>11)現場の看護職に対する老年看護に関する講義等の講師</p> <p>平成〇年〇月</p> <p>平成〇年〇月</p> <p>平成〇年〇月</p> <p>※大学との共同研究 ※訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績 ※各種審議会・行政委員会、各種ADR等の委員 ※行政機関における調査官等 ※研究会・ワークショップ等での報告や症例発表 ※調査研究、留学、海外事情調査等 ※上記を裏付ける報告書、手引き書、マニュアル、雑誌等</p> <p>※実務経験の記載については、「職歴」欄に記入した事項等を参考に記入してください。</p> <p>① 従事した期間 ② 職務の内容(どのような職務に就いて、どのような役割を果たしたか) ③ 成果、結果</p> <p>※企業、官公庁等の研究者の場合 ・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要 ・大学との共同研究による研究業績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割</p> <p>※その他企業・団体関係者 ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績</p> <p>※情報技術関係者の場合 ・コンピュータに係る職務歴(職務上のコンピュータ活用法、ソフト・システム開発歴)</p> <p>※マスコミ関係者の場合 ・執筆した記事の概要 ・制作した番組の概要</p> <p>※医師や看護師等医療技術者の場合 ・症例研究会での発表等の活動</p> <p>※福祉その他社会的活動の関係者の場合 ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位</p> <p>※スポーツ等実技関係者の場合 ・指導者としての経歴・実績・資格</p> <p>※芸術関係者の場合 ・作品の概要</p> <p>※博物館・美術館関係者の場合 ・担当した展覧会の概要 ・執筆・監修した展覧会図録の概要</p> <p>※その他全般を通じて</p>	<p>平成〇年〇月</p> <p>平成〇年〇月</p> <p>平成〇年〇月</p>	<p>1) 老人性痴呆症疾患対策研修会を〇〇県〇〇療養所において、老人性痴呆患者の看護に従事する看護婦・士を対象に「老年期看護概論」を講義した。</p> <p>2) 〇〇県看護協会〇〇地区支部および〇〇地区支部対象会において、約150名を対象に「老人〇〇」について講演した。</p> <p>3) 〇〇県看護協会〇〇地区支部によるシンポジウム「介護保険制度における看護職の役割」コーディネーターを務めた。</p> <p>※「職務上の実績に関する事項」欄の項目の起こし方は、内容別でも時系列でも結構です。担当科目との関連性が見えやすい項目の立て方にしてください。</p> <p>※職務上の実績に関する事項として、本人の当該専門分野に関する実務の経験等について近年の当該分野の実務に関する状況等に通じていることなども含め、詳細に記入してください。</p>
--	---	--

<p>4 その他 (研究活動に関する事項) 1 平成○年～○年度 ○○○研究費補助金基盤研究C)課題番号：111111 「○○○○○ ○・・・に関する研究」(学術論文4に再掲)</p> <p>※1から3に該当するもの以外の事項について幅広く記入してください。</p> <p>○職能団体等の第三者から、実務家としての卓越性に関して評価・推薦等がある場合 ・職能団体等の名称，代表者，目標，業務 ・評価・推薦の内容 ○論文の引用実績 等々 ○実務に関する受賞歴(研究助成も含む)，実務に関連した社会的活動等を記入してください。</p>	<p>平成○年○月</p>	<p>○○○ …… (研究内容を記入してください。) ……○○○。 研究分担者：○○○○，○○○○，○○○○，○○○○</p>
---	---------------	---

<p>(学術論文) <例> <単著の場合> 1 ○○○○</p>	<p>単 著</p>	<p>昭和○年○月</p>	<p>「○○○○紀要」 第○巻第○号</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【第○巻第○号】と統一 (例) 「vol. 3」…「第3巻」 「7(2)」…「第7巻第2号」</p> </div>	<p>○○○○・・・ (200字程度以上) ・・・○○○○○。 掲載頁：pp. ○-○</p>
<p><共著の場合> 2 ○○○○</p>	<p>共 著</p>	<p>昭和○年○月</p>	<p>「○○○○紀要」 第○巻第○号</p>	<p>○○○○・・・ (200字程度以上) ・・・○○○○○。 掲載頁：pp. ○-○ 本人担当部分：○○○○○○ pp. ○-○ 共著者：○○○○○, ○○○○, ○○○○, ○○ ○○, ○○○○</p>
<p><学位論文の場合> 3 ○○○○ (博士論文)</p>	<p>単 著</p>	<p>昭和○年○月</p>	<p>学位授与大学名</p>	<p>○○○○・・・ (200字程度以上) ・・・○○○○○。 A○判 全○頁(または、「400字詰原稿用紙換算○枚」)</p>
<p><査読付で共著の場合> 4 ○○○○ (査読付)</p>	<p>共 著</p>	<p>昭和○年○月</p>	<p>○○学会誌「○○○○」 第○巻第○号</p>	<p>○○○○・・・ (200字程度以上) ・・・○○○○○。 掲載頁：pp. ○-○ 本人担当部分：共同研究につき抽出不可能or実験結果の○○(ご本人の専門分野からのアプローチを記載)○○的見地から評価し、論文のとりまとめを行った。等 共著者：○○○○, ○○○○, ○○○○, ○○ ○○, ○○○○, ○○○○</p>

※学位論文については、
論文名の後に(修士論文)
または(博士論文)と記
入してください。

※査読付きの場合は、
論文名の後に
(査読付)と
記入してください。

◆学会発表，報告書，総説，翻訳，講演，その他の順に記入してください。				
<p>(その他)</p> <p><例></p> <p>「学会発表」 1 ○○○○○○○○</p> <p>※口頭の「学会発表」は、この欄に記入してください。</p> <p>「報告書」 1 ○○○○○○○○</p> <p>「総説」 1 ○○○○○○○○</p> <p>「翻訳」 1 原著者名○○○○ 邦訳表題 「○○○……………」 ○○」</p>	<p>—</p> <p>学会発表の単著・共著欄には「—」を記入してください。</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共訳</p>	<p>昭和○年○月</p> <p>昭和○年○月</p> <p>昭和○年○月</p> <p>昭和○年○月</p>	<p>○○学会第○回大会 (於：○○)</p> <p>平成○年○○ ○……………研究報告書</p> <p>○○○○○○ 第○巻第○号</p> <p>○○○○出版社</p>	<p>○○○○…</p> <p>(200字程度以上)</p> <p>……………○○○○。</p> <p>本人担当部分：○○○○○○○○○ 共同発表者：○○○○，○○○○，○○○○，○○○○，○○○○，○○○○</p> <p>○○○○…</p> <p>(200字程度以上)</p> <p>……………○○○○。</p> <p>掲載頁：pp. ○-○ 本人担当部分：○○○○○○○○○ 共著者：○○○○，○○○○，○○○○，○○○○，○○○○，○○○○</p> <p>○○○○…</p> <p>(200字程度以上)</p> <p>……………○○○○。</p> <p>掲載頁：pp. ○-○ 共著者：○○○○，○○○○，○○○○，○○○○，○○○○，○○○○</p> <p>原書名：○○○○○○○ ○○○○…</p> <p>(200字程度以上)</p> <p>……………○○○○。</p> <p>A○判 全○頁 本人担当部分：○○○○○○○ pp. ○-○ 監修：○○○○○ 共著者：○○○○，○○○○，○○○○，○○○○，○○○○，○○○○</p>